

月刊

ボラナビ

2011年

No.150
2月号

無料

ご自由にお持ち帰りください

今月の表紙イラスト

プロとしてご活躍で札幌市在住の
西田ヒロ子さんにご提供いただきました。

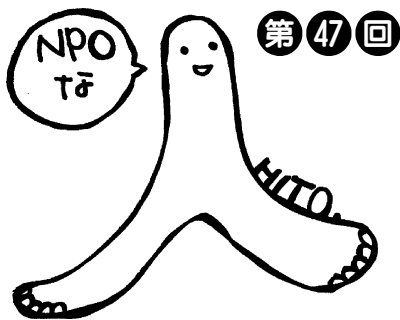
表紙のイラスト
募集中



N P O 人
O B ・ O G コ ラ ム

財団法人北海道国際交流センター(H-I-E)事務局長 池田 誠さん
泣いた！ 笑った！ フィリピンの人々と…

北海道の NPO 法人認証数
1,632 法人
(2010 年 11 月末現在)



第 47 回

.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....

財団法人北海道地域活動振興協会助成



著 者

財団法人北海道国際交流センター(HIF)事務局長
池田 誠 (いけだ まこと)

1961 年函館生まれ。大学卒業後、旅行会社 JTB に勤務。退社後、ニュージーランドでグリーンツーリズムを学び、2 年間、新得町の農場で暮らす。現在、外務省 NGO 相談員、ESD-J 理事、北海道地球温暖化防止活動推進員、大沼マイルストーン 22 代表、北海道アフリカネットワーク代表などの他、ボラナビ倶楽部の理事を務める。趣味はトレッキングと料理。七飯町在住。

自然の中で育つ

しんしんと降り積もる雪。朝起きると、屋根まで埋もれるような高さでドアが開かない。父がようやくこじ開けて、家から道路までスコップで雪をかきながら道を作る。収穫期には、もぎたてのイチゴやスイカ、桃、トウキビなどにかぶりつく。いつも裸足でそこらじゅうを駆け回り、川でパチャパチャと水遊び。自然の中で暮らすことが僕には楽しかった。

20 代の頃、赤井川村で農業やものづくりを基盤に活動する「アリスファーム」の藤門弘(ふじかどひろし)さんと宇土卷子(うどまきこ)さんに出会う。羊を飼い、その毛でセーターを編む。シェーカー家具(※)も家もハンドメイド。食事は手作りのブルーベリージャムを塗った天然酵母パンに自家製ヨーグルト。仲間が集まって、春を感じながら 20 キロのクロスカントリー。自給自足をし、田舎暮らしの不便さをももの見事に楽しむお二人は、まさに憧れのライフスタイルだった。

ビデオで倉本聰さんの「北の国から」を何度も繰り返し観たり、知床の厳しい季節を生きる「大草原の少女みゆきちゃん」に拍手を送るだけだった僕は、ニュージーランドに渡った。1 年間、ハーブ農園や羊牧場に住み込む。「I'm farmer」と自負を持って働く農家に共感した。Do it yourself (自分のことは自分です)を大切にするニュージーランドの人々。壁が壊れても、井戸が詰まっても、車がオーバーヒートしても何とかしてしまう。衛生管理のために、振り返りを浴びながら何百頭もの子羊のしっぽを切る高校生の女の子のたくましさも、ニュージーランドで驚いたことの一つ。帰国後は、共働学舎新得農場で心身にハンディキャップのある人たちと、有機農業とナチュラルチーズづくりをしながら自給自足で暮らす。約 60 人と共同生活し、改めて「人に認められること、働くこと」について考えさせられ、「自然と共に生きること」が僕のテーマになった。



サミットに合わせて洞爺湖で実施した植樹活動

※18 世紀後半にアメリカでシェーカー教徒が創りだした実用性重視のシンプルな家具。

国際的な視点で地域課題に向き合う

大学卒業後は働きながら、「北海道国際交流センター（HIF）」が主催する国際交流活動にボランティアとして関わっていた。HIF は 1979 年、早稲田大学の要請で 16 人の留学生を七飯町の農家に 2 週間滞在させ、当時としては非常に珍しい草の根の国際交流を成功させたことで組織化された法人だった（こうした草の根の国際交流は、その後全国に波及した）。毎年多くの留学生が北海道に来て、芋掘りや牛の餌やり、昆布干しなどを体験する。受け入れるホストファミリーは、畑作や酪農、漁業に携わる、自然と隣り合わせた生き方の実践者たちだ。いつも汗だくで、笑顔の絶えない彼らとの出会いが、僕の人生のターニングポイントとなった。2001 年、縁あって僕は HIF で働くことになった。

HIF では、ホームステイ事業以外にも、国際交流に関する様々な事業を展開している。一つは、環境のための「国際ワークキャンプ」の実施。これは、留学生と日本人が、共にボランティアとして地域の植樹や湖の浄化活動などを行うものだ。2008 年の洞爺湖サミットでは、ヨーロッパやアジア 8 カ国と日本の若者が一緒に道内で植樹活動をし、さらに地球環境への思いを短冊に書いて、G 8 に集まった世界の首脳に届けた。また、タイやマレーシア、韓国などでスタディツアーも実施している。マリントーリズムを進めるフィリピンへのツアーでは、地元の NGO の協力で現地入りし海洋調査を行った。2004 年には、ボラナビを参考に、道南のボランティア情報誌「ボラット」を創刊。2010 年には、若者の厳しい雇用の現状に国際的な視点で臨むために、若者の就労をサポートする「はこだて若者サポートステーション」を始めたり、名古屋で行われた生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP 10）に北海道環境省パートナーシップオフィスと連携して出展したりした。

草の根の国際交流を通じて、環境や自分たちの街について考える。世界の若者が集まって、これからの未来を考える。思いは国境、分野、セクター、世代の壁を優に越えて広がってゆく。国際交流は、既存の枠組みを再編する原動力になるのかもしれない。今こそ地球的な視点で社会に挑むことが必要だ。僕たちは道外や海外の NPO・NGO と築いてきたネットワークにより様々な活動を展開し、国際的な視点で地域課題に向き合う。まさに「Think globally, Act locally」の精神だ。

HIF の仲介で、毎年北海道には 400 人の留学生がホームステイする。30 年以上前にまかれた国際交流の種から、受け入れた留学生は 1 万人以上。皆が世界で花を咲かせ、北海道を第 2 の故郷としてつながっている。一方、日本では若者の海外離れが進み、また、自然の中で過ごすことも少なくなっているという。これからの時代を担う若者には、自然の雄大な息吹を感じ、一度は海外で生活して欲しい。大いなる希望と夢を持って生きてゆく人たちを育てることこそ、自分の使命だと考えている。



2007 年海洋視察で訪れたフィリピン

ホストファミリー募集

ホームステイ先として留学生を受け入れてくださるご家庭を募集しています。詳細はお問い合わせください。

■■ 財団法人北海道国際交流センター（HIF） ■■■

TEL：0138-22-0770 FAX：0138-22-0660 函館市元町14-1 ホームページ <http://www.hif.or.jp>
池田さん個人 E メール ikedat@hif.or.jp



volunavi cafe

ボラナビカフェに参加しませんか？

ボラナビカフェは誰でも参加できるおしゃべりの場です。みんなが順に話し、いろいろな思いや話題を共有していきます。これまで以上に多くの方に参加していただくため、2011年3月までは毎月5回程度開催します。

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

どなたでも参加できます。お申し込みをお待ちしています。

2月

5日(土) ▽ボラナビ事務所

自助グループを運営している方々もいらっしゃいます。

8日(火) ○向日葵(ひまわり)食堂、26日(土) ▽A会議室

さまざまな演芸を福祉施設で披露しているボランティアの方々もいらっしゃいます。

19日(土)、28日(月) ◇café 亜麻人(あまんと)

無料講座です！ 19日は「あなたの今年のラッキーカラーは何色ですか？」～生年月日からあなたの今年を占います。講師はサロン&カラースクール『Cat Tail(キャットテール)』のミリーおばさん。

28日は「固形石けんでシャンプー!?」～環境のお話です。顔と頭の皮膚はつながっています。でも、シャンプーで洗顔できますか？ 固形せっけんなら、髪も頭皮も顔も安心して洗えます。コツさえつかめばロングヘアも大丈夫。講師は生活クラブ生協石けんステーション代表の高坂千鶴さんです。

3月

4日(金) ○向日葵食堂

ボラナビ倶楽部で校正、梱包、配送などのボランティア(通称・ボラボラさん)もいらっしゃいます。

5日(土) ▽ボラナビ事務所

「花や野菜づくりの楽しさ」、「中高年の健康について」を中心にみんなでお話ししませんか。実際に野菜づくりをしているNPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ札幌中央代表の坂井隆介さんもいらっしゃいます。

9日(水)、19日(土) ◇café 亜麻人

無料の講座をします。

14日(月) ○向日葵食堂

誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」を運営されている方々もいらっしゃいます。

22日(火) ○向日葵食堂

さまざまな演芸を福祉施設で披露しているボランティアの方々もいらっしゃいます。2月の同企画に参加の申し込みが多いため、3月にも開催決定しました！

- ◎場所／**ボラナビ事務所**（札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル7階）参加費は300円です。
月寒あんばん本舗ほんま様から提供していただくお菓子を食べながら、みんなで話しましょう。
- ◇場所／**café 亜麻人**（札幌市北区麻生町6丁目14-6 高橋ビル2階）参加費無料。飲食物は出ませんが、250円で飲み物を注文できます。会場ビル裏手に有料駐車場（100円/時）あり。
託児が必要な方も参加できます（保育士2人）。託児無料。お子様のお名前、性別、生年月、障がいの有無をあわせてお知らせください。お子様のオムツや飲み物などは各自ご用意ください。
- ▽場所／**ボラナビ事務所**（札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル7階）参加費無料。みんなで話しましょう。2月26日（土）は同ビル5階A会議室です。
- 場所／**向日葵食堂**（札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル6階）参加費無料。
飲食物は出ませんが、コーヒー200円を注文できます。
- ※ボラナビと食堂は「札幌駅」からすぐ、亜麻人は地下鉄南北線「麻生駅」とJR「新琴似駅」からすぐ。

時間／13：30～15：00

申込締切／各開催日の3日前。定員10人（最少催行人数4人）

お問合せ・お申込み／NPO法人ボラナビ倶楽部 Eメール volunavi@npohokkaido.jp

TEL：011-242-2042 FAX：011-242-2043

スケジュールやこれまでのカフェの様子は、ホームページにも掲載しています。（「ボラナビカフェ」で検索）

REPO



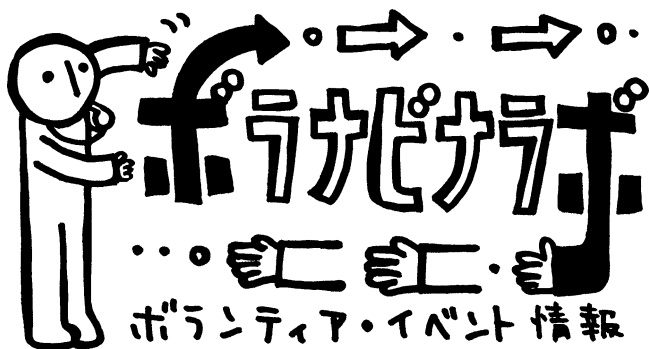
12月20日(月)

起業支援をされているNPO法人シニアマスターズネットワーク常務理事の藤原哲郎さんと、「北海道男性介護者と支援者のつどい」事務局長の小番一弘さんがゲストで、17人でお話しました。藤原さんからは、地域にニーズを見出して試行されているご自身の事業のことや、「一人で起業をする場合は、なるべくお金をかけずに、自分のスキルを生かせるものを」といったお話がありました。小番さんからは、お母様が認知症になられたのを機に、他の家庭の介護状況も気になって活動を始められたことや、介護付き賃貸マンションのスペースを借りて行っている地域交流の場作りについて、お話がありました。

12月25日(土)

NPO法人北海道NPOサポートセンター事務局長の小林董信さんと、不登校・引きこもりの自助グループ「あるがまま」を主宰する高尾晋さんがゲストで、19人でお話しました。高尾さんからは、ご自身が引きこもった経緯や、北海道新聞社の記者になられるまでのお話がありました。小林さんからは、運営しているNPOのポータルサイトについてや、高尾さんの話を受けて、何人か引きこもりの方をボランティアとして受け入れたときのエピソードを紹介していただきました。「特別扱いはせず、ある意味『見守り』ながら、さまざまな仕事をしていただいた。皆さん、いろいろな経験をする中で、やりたいことを見つけて巣立って行かれた」と話されていました。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

● ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunabi/>
 ※インターネット環境が無い方は、FAX や郵便でお送りください。

締切は毎月 25 日。次回は 2 月 25 日締切で 4 月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時 一緒に猫の世話をしませんか

私たちは保護した猫をたくさん飼っている方のお宅で、猫の世話をお手伝いするボランティアをしています。内容は、エサをやったり、部屋の掃除やトイレの取替えなどです。冬は遠方のボランティアが来られなくなり、さらに人手不足です。一緒に活動しませんか。週に 1 度でも 10 日に 1 度でも、ご都合のよい日で結構です。猫が好きな方をお願いします。



- 日時／9：00～11：00 頃（都合の悪い方は午後でも OK です!）
- 場所／札幌市白石区平和通
- お問い合わせ／猫といつまでも〈担当：三浦〉 TEL：011-846-0414

午前中または 20：00～22：00。留守電になった場合は、連絡先を残していただければ折り返しお電話します。

新しい演目が
増えました

「恵比寿と大黒の祝い太鼓」 はいかがですか

- お誕生会で長寿を願って、商売の繁盛を願って、お祝い事に！
 …楽しくて、心が踊ります。
 厄払い、入学祝い、卒業祝いなどには、獅子舞いの門付けも一緒にいかがですか。
 ちょっぴり怖いけど勇壮です。
 1 回 15 分～30 分、料金は 5000 円から（札幌市内であれば交通費無料）
- ビジネス関係は応相談。2011 年 2 月から 4 月まで限定。
 正式なお囃子付き（5 人編成）や札幌市外は別途、料金がかかります。



お問い合わせ／新芸能集団「乱拍子」〈村場〉 TEL：011-855-2029 Eメール murabake@yahoo.co.jp
 FAX

ぬくもりの
ケア

●ハンド・フットケア初心者用基礎講座教室

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。

※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。（平成 21 年度北海道社会福祉協議会主催）

日 時／毎月第 2・4（土）13：00～15：00 2 時間/回（全 5 回）
 受講料／35,000 円（教材・修了書代含む）

●ヘッドケア・肩ケア初心者用講座を開設します!

日 時／毎月第 1・3（日）13：00～15：00 2 時間/回（全 4 回）
 受講料／32,000 円（教材・修了書代含む）

会 場／どちらの講座も札幌市中央区南 2 条西 6 丁目 狸小路プラザハウス 2 階

NPO 法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングケアスクール札幌 代表：男沢(おざわ)千恵子
 TEL：090-2877-5876 FAX：011-824-3844 ホームページ <http://www.healing-care.jp>

2/11
締

エコ育広場 2011 のボランティア募集

「エコ育広場」とは、子どもから大人までが気軽に遊びながら環境について学び、体験できるイベントです。環境教育や環境問題をテーマに活動する約 20 団体が体験ブースを設け、様々なプログラムを実施します。このイベントの受付や、会場の巡回などをお手伝いして下さるボランティアを募集します。ボランティアの方にも、プログラムを楽しんでいただく時間があります。昨年お手伝いいただいた方々からは、「楽しかった」「勉強になった」といった感想をいただいています。

- 日時／2月19日(土) 9:00～17:30 ●場所／エルプラザ2階 環境研修室 1・2(札幌市北区北8条西3丁目)
- 交通機関／JR「札幌駅」〈北口〉より徒歩5分
- お問合せ／エコ育広場 2011 実行委員会 Eメール ecoiku.hiroba@gmail.com TEL: 011-272-6284

随時

仲介料無料でアパートを探します

私たちは、高齢者、留学生、障がい者、生活保護受給者、母子家庭の方、入院されている方などが札幌市内の賃貸アパートを探すのを仲介料無料でお手伝いしている NPO です。理事長は、「ピタットハウス」で事業展開している不動産会社の代表者で、会社が持つ資源を活かした社会貢献活動として 2009 年に始めました。まだ 1 年が過ぎたところですが、母子家庭 2 世帯、身体障がい者 10 人、精神障がい者 1 人、留学生 14 人、高齢者 1 人に仲介してさしあげることができました。お客様から、交通機関や間取りの他様々な希望をお聞きて、見合う物件を少しでも多くご用意し、選択の幅を広げて差し上げられるよう努めております。対象となられる方はご連絡ください。

- 業務時間／月～金曜日 10:00～19:00
- 事務所所在地／札幌市中央区北2条東1丁目2-10 北2条ビル2階 札幌サポートセンター
- 交通機関／地下鉄南北線「さっぽろ駅」又は JR「札幌駅」〈22 番出口〉より徒歩 5 分
- その他／私どもの事務所までお越しいただくのが難しいお客様に対しては、車でお迎えにあがります。物件探しには会社の営業担当者が関与し、お部屋をご覧になる際は NPO のスタッフが同行します。
- お問合せ／NPO 法人へやピタあんしん賃貸ネットワーク〈担当: 石川〉 Eメール npo@heyapita.com
TEL: 011-218-6467 ホームページ <http://www.heyapita.com/npo/>

月～金

病院内でボランティアをしませんか

当院は、がん基幹施設として位置づけられている総合病院です。ここでボランティアをしませんか。内容は、外来患者さんの院内案内・受診手続き・再来受付機操作のお手伝い、車いす利用者さんの介助、図書の貸し出しと整理、病院のイベントサポートなどです。特別な資格がなくても、患者さんのお役に立ちたいと思っている方ならどなたでも参加していただけます。お気軽にお問い合わせください(見学可)。

- 日時／月～金 9:00～11:00。月・水・金は 14:00～16:00 も。これらの中でご都合の良い時間帯をお選びください。
- 場所／北海道がんセンター(札幌市白石区菊水4条2丁目3-54)
- 交通機関／地下鉄東西線「菊水駅」〈3 番出口〉より徒歩 3 分
- お問合せ／北海道がんセンター ボランティアコーディネーター〈担当: 管理課庶務班長 口野(くちの)、看護部副看護部長 森〉 TEL: 011-811-9111 ホームページ <http://www.sap-cc.org/hp/info/>

元東映映画俳優

プロ芸人出前公演(道内各地)

高齢者施設・団体や町内会などの
敬老会・お誕生日会などを
昨年以上に楽しい行事にしてみませんか

- 演目: ナツメロ・国定忠治の一人芝居など。案内資料を郵送します。
- 料金: 札幌市内であれば、5000 円程度です。

夢と生きがい 高齢者のためのコンサート実行委員会〈皆川〉

TEL・FAX: 011-704-1055



名岡幸城山
国定忠治

随時

生活保護の申請などで困っていませんか

私たちは、政党や宗教、考え方のちがいにかかわらず、生きる権利と平和を守り、誰もが人間らしく暮らすことのできる社会と政治にするために活動しています。1954年に「全国生活と健康を守る会連合会」（東京）が誕生し、札幌市内では全区に拠点を置いています。様々な活動をしており、例えば参加している「雇用・くらし SOS ネットワーク北海道」として街頭相談会を開催した際には、緊急性の高い相談者を市営住宅に入居させてあげることができました。生活保護の申請などで困っている方はいませんか。申請時に、「親子・兄弟姉妹に相談してからにして」とか「自動車を持っているならダメ」「働くところを探してから来て」などと言われるのは、申請権の侵害です。お手伝いできるかもしれませんので、お知らせください。ご相談者の最寄りの拠点を紹介します。相談は無料です。

- 日時／月～金曜日 10：00～17：00
- その他／社会保障の実現を目指す私たちの活動に参加・支援して下さる会員を募集しています（会費額は各区の拠点により多少異なりますが、月額 800 円程度です）。
- お問合せ／北海道生活と健康を守る会連合会 Eメール doseiren@joy.ocn.ne.jp TEL：011-736-1722 FAX：011-736-1688 札幌市西区八軒 8 条東 5 丁目 4-20

金

一緒に手話を学びませんか

私たちのサークルは、ろう者から手話を教えてもらい、手話を学ぶ中から、ろう者の生活の不便さを理解し、コミュニケーションや情報の不足を少しでも補う手助けができればと活動しています。テキストを使った学習のほか、お花見会や施設見学会などいろいろな行事があり、自然な会話の中からも楽しく学べます。会場を変更する時がありますので、事前にご連絡の上、見学にいらしてください。

- 日時／毎週金曜日 10：00～12：00
- 場所／新琴似・新川地区センター（札幌市北区新琴似 2 条 8 丁目）
- 交通機関／地下鉄南北線「北 24 条駅」よりバス（北 73 新川営業所行き）で「新琴似 2 条 8 丁目」下車徒歩 1 分。
- その他／会費ひと月 400 円
- お問合せ／レインボー手話サークル〈担当：田中〉
Eメール jyura-t0324@ezweb.ne.jp TEL・FAX：011-763-0536 携帯：090-6268-0924



～NPO のちょっとした疑問にお答えします。～



Q NPO 法人を設立し、運営をはじめております。団体のロゴマークをデザインして作成し、インターネットのホームページや名刺、事務所の看板等に記載しています。このロゴマークは、商標登録をしたほうがよいのでしょうか。



- **A** あなたの NPO 法人をあらわすロゴマークについては、商標登録しておくことをおすすめします。仮に今後、悪質な業者やあなたの NPO 法人の社会的イメージと合わない業者が、同一・類似のロゴマークを使用している場合には、商標登録さえしておけば、商標権に基づいて、ロゴマークの使用差止請求等の法的措置をとることができます。NPO 法人は、公益・社会的活動を使命として活動することを目的としていますので、NPO 法人がもつブランドイメージは極めて重要なものです。あなたの NPO 法人についても、商標登録により、ブランドイメージをしっかりと保持・保全していくことが重要であると考えます。
- 下矢洋貴 弁護士（佐々木総合法律事務所 TEL：011-261-8455）

月～金

東区のコミュニティスペースを利用しませんか

2010年10月にオープンしたコミュニティスペース光星では、東区（主に鉄東地区）の方を対象にしたお手伝いサービス（有料）や、レンタルショップの運営などを行っています。また、サークル活動やお食事会、習い事の講習などに使っていただけるレンタルスペースを3時間で500円＋暖房費100円でお貸ししています。この他、地域の皆様と交流する活動として、近隣の小学校に寄贈するぞうきんと一緒に縫ったり、絵手紙作りや、ゲームをしてお汁粉を食べる会を企画しています。ご関心をもたれた方はぜひいらしてください。

- 日時／月～金曜日9：00～17：00。交流活動は月2回程度不定期。
- 場所／コミュニティスペース光星（札幌市東区北9条東9丁目3-32）
- その他／お手伝いサービスの利用には初回登録料1,000円をお支払いいただきます。レンタルショップへの出品は売上に応じて手数料がかかります。
- お問合せ／NPO法人さっぽろ介護 NPO 支援ネット コミュニティスペース光星〈担当：堀田〉
Eメール kousei@npo-hokkaido.org TEL：011-790-6508 FAX：011-790-6979
ホームページ <http://kousei99.jimdo.com/>

随時

ネットワーク作りに協力してくれるボランティア募集

札幌市市民活動サポートセンターを「縁」とした、活動団体（者）をつなぐネットワークを作ることになりました。とにかくつながり、活動の充実・創造を目指しませんか。将来は、他の公共施設を縁としたネットワークにつなげたいと思っています。そこで、連絡窓口を担当してくださる人や、ホームページの作成をお手伝いして下さる方を募集します。ぜひご協力ください！

- 日時／応募者をご相談の上、決定します。
- 場所／札幌市市民活動サポートセンター（札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ2階）他
- 交通機関／地下鉄南北線「さっぽろ駅」やJR「札幌駅」北口直結
- お問合せ／「しみサポ活動団体（者）ネットワーク」準備会
〈担当：宮本（北海道生涯教育総合研究センター）・秋田（NPO 活動人）〉 TEL：011-746-3665

登録ヘルパー募集

興味のある方 ぜひお気軽にご応募ください♪

随時

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方（周辺の方も応相談）

- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可

- 給与／与／時給930円（交通費400円。深夜手当などの諸手当あり）

- 勤務場所／南区とその周辺

- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、右記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ
ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804
札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840



北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト「よんななくらぶ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。

よんななくらぶ

検索



登録無料 欲しい情報がお手元に

ボラナビ・アラート

活動したい地域・分野・時間帯を
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け！
携帯からも簡単登録→

<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

月など 子育てについて話ませんか

「みみずく」は、子育てや心の悩みを持つお母さんのためのカウンセリング・ルームです。臨床心理士があなたのお話をお聴きして、解決への道と一緒に考えます。「自分だけ」と思っていた悩みが、実は他の方と共通していることは多いです。仲間とホンネで話し合ってみませんか？ 現在、小さなお子さんを持つ母親の集まり「わが子を愛したい母のグループ」（1999年発足）と、思春期以降のお子さんを持つ母親の集まり「グループ21」があります。近所や親戚には絶対に話せないことを自由に語り合える場です。悩みが自分だけではないことが分かって心が軽くなり、人の話を聞くことで気付くことがあり、それを分かち合って皆が前進します。5、6人の小グループになり、カウンセラーがみなさんの話し合いをお手伝いします（参加費500円）。参加を希望される方とは、最初に個別にお会いします（1時間程度2,000円）。ぜひご連絡ください。

- 日時／「わが子を愛したい母のグループ」は隔週月曜日 10:00～11:30。年3クールで、数ヶ月間連続でご参加いただきます。夏冬春休みは実施しません。「グループ21」は、月1回土曜日 14:00～16:00。
- 場所／札幌市北区北22条西4丁目ライオンズマンション北22条704号室
- 交通機関／地下鉄南北線「北24条駅」〈南4番出口〉（北洋銀行口）より徒歩2分。隣に有料駐車場あり。
- その他／わが子を愛したい母のグループは、100円で託児を利用できます。心理や福祉、教育を専行する学生などが、続き部屋でお子さんと遊びます。要事前予約。
- お問合せ／母子相談室「みみずく」

Eメール soudan-mimizuku@mbn.nifty.com TEL・FAX：011-737-2555 携帯：090-4873-0543

2/24 締 「男性介護者向け料理教室」参加者とボランティア募集

介護をする側の3人に1人は男性、という時代になりました。男性介護者が困っていることの一つは料理です。この度、市民団体「北海道男性介護者と支援者のつどい」さんからの要請を受け、食を通じた社会貢献をしている私たち市民団体「R☆Sジンジャー」が男性介護者向け料理教室を定期開催することになりました。各参加者に合わせて、何を料理するかや難易度などを柔軟に決めていきます。今は家族を介護されていない方や、介護現場で働いている方もぜひご参加ください。また、ボランティアも募集いたします。年齢・性別・調理経験は不問です。



- 日時／1月から始めています。2月は26日（土）11:00～13:00。以降毎月1回開催予定。
- 場所／ハローガス2階「クッキングスペース」（札幌市中央区南19条西6丁目）
- 交通機関／地下鉄南北線「幌平橋駅」より徒歩10分。または市電「山鼻19条」停留所より徒歩1分。無料駐車場あり。
- その他／受講者は参加費1,000円（食事つき）。ボランティアさんには交通費500円まで支給。いずれも、エプロン、帽子（三角巾）、ハンドタオルをお持ちください。
- お問合せ／R☆Sジンジャー〈担当：高柳〉 Eメール r-takareo@softbank.ne.jp 携帯：090-7649-5804
TEL：011-300-2252 FAX：011-511-1159 連絡はなるべくメールでお願いいたします。



～NPOのちょっとした疑問にお答えします。～

Q 株式会社には企業会計原則があるように、NPO法人にも会計基準はあるのですか？

- **A** 例えば株式会社等には企業会計原則、財団法人や社団法人には公益法人会計基準、社会福祉法人には社会福祉法人会計基準があるように、各法人制度にはそれぞれの会計基準や規則等があります。しかし、1998年にNPO法ができてからこれまで、NPO法人には会計基準といえるような会計のルールがありませんでした。そこで、2009年3月に、NPO法人のための会計基準を作成しようと全国のNPO関係者や会計の専門家等が集まり、2010年7月20日に「NPO法人会計基準」を作成し、公表しました。（NPO法人会計基準の詳細⇒<http://NPOkaikai.blog63.fc2.com/>）
- 瀧谷和隆（瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com）

サタデースクール、通称「サタスク」は、週末の時間をもてあましがちな子どもたちに居場所を提供する目的で設立されたボランティア組織です。学校や学習塾とは異なる遊び・学びの場を無料で開放しています。子どもたちの「自習」をサポートしたり、共に遊んだりしながら、子どもたちも私たちも共に学び、成長することを目指しています。一緒にこの活動をしませんか。教育に関心がある方や、子どもと接するのが好きな方なら、経験も年齢も不問です。大学生が中心になって活動していますが、社会人や高校生も歓迎です。お気軽にお問い合わせください。なお、サタスクは2010年度の北海道大学「北大元気プロジェクト」に採択されました。

- 日時／毎週土曜日 13:00～16:00
- 場所／レッツ中央（札幌市中央区南4条東4丁目）4月からはレッツアカシア（札幌市東区北22条東1丁目）
- 交通機関／地下鉄東豊線「豊水すすきの駅」または東西線「バスセンター前」より徒歩7分
- お問合せ／サタデースクール〈担当：森田〉

Eメール satasuku.oideyasu@gmail.com ホームページ <http://satasuku.okoshi-yasu.net/>



平成22年度
NGO相談員

北海道のNPO・NGOの 相談業務承ります！

(財)北海道国際交流センター（HIF）は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。2010年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設しています。よりきめ細かい相談や出張サービス（いずれも無料）を承ります。

詳しくは、
札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または
(財)北海道国際交流センター（HIF）
までお問い合わせください。
TEL：0138-22-0770 FAX：0138-22-0660
Eメール info@hif.or.jp
ホームページ <http://www.hif.or.jp>



ボラナビ倶楽部の会員になりませんか？

社会を
変えたい人

一緒に
ボラナビを
育ててみたい人

市民活動や
ボランティアに
興味がある人

ボラナビに
情報・広告を
載せたい人

■年額／個人5千円、法人1万円。

■特典／月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月1回)。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細／ホームページで検索

※会員期間は、2011年4月～2012年3月です。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

2/7 締 ▶自然体験活動についての懇話会

▶2/8(火) 18:30~20:30 までの 2・7 810 会議室(札幌市中央区北 2 西 7)

北海道人格教育懇話会では、家庭や地域の教育力向上を目的として、ほぼ隔月で講師を招き、懇話会を開催しています。2011 年度から小学校で全面実施される長期の自然体験活動について、北海道教育大学の能條歩(のうじょう あゆむ)准教授にお話をいただきます。事前にお申し込みください。関心のある方の参加をお待ちしています。参加費 500 円。定員 30 人。☎北海道人格教育懇話会〈暮地本(ぼちもと)〉 TEL:011-300-3260 FAX:011-533-6154

2/12・13(土・日) ▶温故知新音楽劇「旗ヲ出スベカラズ〜夢似フラグステーション〜」

▶14:00~(12日は19:00~も)開場は30分前。コンカリーニョ(西区八軒1西1ザ・タワープレイス1F)

幼児~70代と幅広い世代の一般市民 20 人以上が参加して創作したお芝居です。地元で実際にあった出来事取材し、地元について学びながら、歌と踊りを組み込んで、毎年この時期に公演してきました。6 年目の今回は、鉄道を舞台にした作品です。札幌と小樽間に鉄道が敷かれて今年で 130 年になります。日本で 3 番目に古いそうです。開通した頃、夢似には駅舎がなく、汽車に乗るときは線路の脇に旗を立てて合図をし、止まってもらっていました(フラグステーション)。でも、誰でも、どこにでも、停車してもらえたわけではありません。さてある日、汽車をどうしても停めたい事情が発生しますが、そこは停まってもらえる場所ではありませんでした…。明治時代の心温まる物語にご期待ください。中学生以上前売 1,000 円(当日 1,200 円)、小学生前売 300 円(当日 500 円)

☎NPO 法人コンカリーニョ〈高橋〉 Eメール mail@concarino.or.jp TEL:011-615-4859 FAX:011-615-4866

2/13(日) ▶アザラシの生態調査ボランティア説明会

▶13:00~道立市民活動促進センター(札幌市中央区北 3 西 7 道庁別館西棟 1 階)

私は、アザラシによる漁業被害が本当に深刻化しているか疑問に思い、2003 年から道北の焼尻(やぎしり)島で調査をしています。2~3 月には出産調査も行います。数日間でも島に来られる方は、アザラシの頭数を数えるこのボランティア活動に参加してみませんか? 調査は毎日朝 9 時から 1 時間ごとですが、ご都合に合わせていただけます。札幌にいながらお手伝いしていただけることもあります。ご関心のある方は説明会にお越しください。

☎焼尻ごまちゃんクラブ〈河野〉 Eメール gomafu-hungskangee72@ezweb.ne.jp

2月 ▶ガールスカウト体験会のご案内

▶北大寺(北区北 12 西 3)、東本願寺(中央区南 7 西 8)、手稲区民センター(手稲区前田 1-11)など。

ガールスカウトを幅広く知ってもらうために体験会を開催します。対象は、来年少学校に入学予定またはすでに小学生となっている女の子と保護者です。12・26 日(土) 10:00~12:00 は北大寺でガールスカウト体験、13 日(日) 10:00~12:00 は東本願寺札幌別院でクラフトづくり、北栄寺ではバレンタインのチョコづくり、10:00~14:00 には手稲区民センターでひなまつりのお菓子づくりとお茶会、27 日(日) 10:00~12:00 は白石区内でフィンランドの音楽にふれる活動をします。参加無料。詳細はお問い合わせください。☎社団法人ガールスカウト札幌地区協議会〈鈴木〉 TEL:011-221-4811 FAX:011-221-4815 Eメール girlsapporo@mail.goo.ne.jp

2/19(土) ▶食の自給フォーラム 2011「いのちのつながりと食と農~身近な暮らしからひもとく生物多様性」(仮題)

▶13:30~16:30 エルプラザ 3 階大ホール(札幌市北区北 8 西 3)

講師は、科学ジャーナリストで「遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン」代表の天笠啓祐(あまがさけいすけ)さん。「生物多様性」の概念を易しく教えていただきながら、私たちの暮らしと食や世界の問題のつながりを再認識しましょう。後半では、20 代の方を交えたトークタイムを設け、北海道に住む者の視点で今回のテーマを考えます。参加費 500 円。定員 320 人。☎NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」食の自給フォーラム 2011 実行委員会〈滝口〉

Eメール syu@sapporoyu.org TEL:011-252-6752 FAX:011-252-6751

2/21 締 ▶環境の視点から札幌の交通を考える市民セミナーⅢ

▶3/1(火) 18:30~20:30 エルプラザ 3 階環境研修室 1・2(札幌市北区北 8 西 3)

私たちは CO₂ の発生とエネルギー消費量の少ない、環境にやさしい市民のライフスタイルを実現するための交通が必要だと考えています。LRT(ライトレール交通)やバスなど、公共交通問題に取り組んでいる関係諸団体の方々と市民が集まるセミナーを開催します。「環境にやさしい交通を考える会」の伊勢田和幸氏より名古屋の事例をうかがいます。札幌の今後の公共交通のあり方などについて考えませんか。参加費無料。定員 60 人。締切日までにお申し込みください。☎まちネット Eメール machinet@fork.ocn.ne.jp FAX:011-841-2429

3/5(土) ▶冬の天気を読む ~座学&実習

▶13:30~ までの 2・7 940 研修室(中央区北 2 西 7)

気象予報士の中村一樹氏による冬の天気に関する講義をお聞きした後、屋外に出て天気を観察し、天気の詳細をたてる実習を行います。参加費(会員外)1,500 円。16:30 からは、会員の集いなど。事前に、お名前、年齢、住所、電話番号をお知らせください。☎北海道キャンプ協会〈安原・岩崎〉 Eメール office@hokkaidocamp.com

TEL:0134-52-3240 FAX:0134-51-5667 小樽市望洋台 2-14-1 望洋ヴィレッジ NPO 法人自然教育促進会内

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第46回

泣いた！ 笑った！ フィリピンの人々と…

太田美保(おおた みほ)さん(28歳) 2008年6月から2年間、フィリピンで保健師として活動。母子を対象にした保健サービスの向上のため、現状の把握と情報整理をし、ボランティアのパワーアップを図った。



RHUのスタッフやホストファミリーと。
(筆者前列左から2人目)

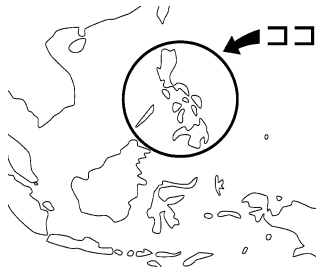
私の配属先は、フィリピンのパナイ島ドゥマラオにある「Rural Health Unit (RHU)」で、日本で言うと、保健センターと診療所、分娩施設を合わせたような所でした。

ドゥマラオは半分くらいが高地で、ほとんどの道が舗装されてなく、移動手段も限られているため、住民が RHU を訪ねることも、現地スタッフが住民を訪問することも困難でした。そのため、バラングイと呼ばれる33の集落には、簡単な応急処置や分娩のための施設が10ヶ所あり、それぞれに担当助産師がいました。また、各バラングイには、その助産師を支える多くのボランティアがいて、大きな役割を果たしていました。彼らは、住民と助産師の橋渡しをしており、それぞれ約20世帯を受け持ち、家庭訪問をして住民の状況を調査したり、イベントの情報を伝えたり、知識の普及を行ったりしていました。

私は、彼らが健康に関する情報や知識を正確に得ることが、住民全体の健康維持・増進につながると考え、ブックレットの作成や講習会を行いました。ボランティアの中には、今まで研修を受ける機会がなかった人や、活動する上でのガイドラインを持っていない人が多く、好評でした。現地語のブックレットを作ることで、スタッフの頭の中にある知識や情報を、多くの人に正確に伝えることができたと思います。

豆知識

フィリピンの首都マニラから東京までは、飛行機で4時間。面積と人口は日本の8割弱です。フィリピンには、7,109もの島があり、言語も約80種類あるそうです。



私は、この活動の中で、できるだけスタッフと話し合うことに努めました。その中で、一番の協力者が、高地在住の1人の助産師でした。私にとっては、お母さんのような存在でした。ある日、戦争の話題になったとき、その助産師は私に言いました。「祖父が日本人に殺された」と。フィリピンには、第二次世界大戦にまつわるたくさんの歴史があります。彼女の私に対する優しさからは全く予期できない事実だったので、非常に驚きました。彼女は、私が任地を去る前日、私の家に泊まり、早朝わざわざ私のために車を借りてきて、空港まで送ってくれました。

この2年間の活動で、私はたくさんのフィリピン人と出会い、助けられました。そして、フィリピンの家族ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。



ボランティアさんを対象にした講習会

▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは——

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター(JICA 札幌)

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL: 011-866-8393 Eメール sictpp@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索



このコーナーは、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

Vol.41

コーポ静友の会

場 所 札幌市東区中沼町 69-6 高齢者下宿コーポ静友

日 時 月 1 回 (不定期) 13:00~15:00

参加費 無料

対 象 高齢者。事前にご連絡ください。

主催・連絡先 TEL: 011-791-1994 (斎藤)



お茶の間について

主宰の斎藤は、介護老人保健施設でボランティアをしたことをきっかけに高齢者下宿を経営したくなり、夫婦 2 人暮らしの自宅の庭をつぶして、部屋 6 室と洗面所、トイレを増築し、2000 年に下宿を開業しました。同時期に、下宿されている方々と、地域のひとり暮らしの高齢者が楽しい時間を過ごせるように、当会を始めました。参加者の気の向くままに、室内でおしゃべりやゲーム、軽い体操などをする他、遠足に行くこともあります。メンバーは 60~90 代の 11 人で、そのうち 2 人は会を始めた当初から参加しています。参加者の多くが健康を害しており、認知症が始まっている方もいます。



メ ッ セ ー ジ

今ではみんな、すっかり気心の知れた仲間となり、和気あいあいとした雰囲気です。モエリ沼公園、円山や旭山の動物園、北竜のひまわり畑などに遠足に行ってきた時は、「良かった、良かった」と喜びあいました。これからも、お誕生日会やカラオケ、マジシャンなど、できるだけ多くの楽しみを持ちたいとみんなで言っています。家族のようによく話しあって、参加される方が笑顔になり、時間を忘れるような楽しいひとときを送れるように続けたいと思います。私や下宿されている方を訪ねてきたお客さんが、話に加わることもあります。みなさんも、ぜひ足を運んでみてください。



ボラナビカフェを
毎月開催しています。



2月 5日(土)、8日(火)、12日(土)、19日(土)
26日(土)、28日(月)

3月 4日(金)、5日(土)、9日(水)、12日(土)
14日(月)、19日(土)、22日(火)、26日(土)

時間は 13:30~15:00

参加費無料の日や、無料の託児付きの日があります。
詳細は 3・4 ページをご覧ください。

12月の

事務局の1ヶ月を
振り返りつつご紹介



- 1 (水) ●2月のボラナビカフェで出張芸ボランティアの方々に集まりいただきと連絡したら、それをきっかけに事務所にいらしてくれた方がいた。●以前、ボラナビカフェにいらした方が、市民団体をつくる準備で各所を回っているそうで、ボラナビにも立ち寄ってくださった。●障がい者の住まいについて考える勉強会に出席。さまざまな方とお会いできた。
- 6 (月) ●仕事をしていたら地震発生。ビルの7階は結構大きく揺れて、怖かった。
- 7 (火) ●北海道武蔵女子短期大学の講義で森田がスピーチ。学生さんたちは、廊下で会う来賓者に必ず挨拶をする。とても礼儀正しい。
- 11 (土) ●認知症のシンポジウムに代表の森田と高山

- が出席。
- 15 (水) ●「共通テーマを持ちながら、話す機会がない人同士にニーズがあるのでは」と知り合いの方々を思い浮かべながら、いくつか企画性をもったボラナビカフェを発案した。関係者に声をかけると、みなさんから参加申し込みや近況報告をいただき、懐かしく、開催がますます楽しみになった。企画したカフェについては3ページで紹介しています。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。
- 16 (木) ●精神的な病気のため有償で掃除をしてくれる方を探している、という問い合わせを受けた。参考になりそうな先を紹介した。●生活保護受給者を対象にした就労ボランティア体験事業について、札幌市が開催した説明会に森田と高山が出席。
- 20 (月) ●ゲストを迎えたボラナビカフェを初めて開催。レポートは4ページに掲載。
- 24 (金) ●この事務局日誌用の原稿元データは、ボラナビのパソコン「共有フォルダ」に入っている。事務所にいる時間が長い村上がメモをしたネタを読んだ、事務所で起きた出来事を初めて知ることもある。
- 27 (月) ●寄付金を受けとりに、某企業を訪問。ボラナビの今年度の活動を報告した。

月刊ボラナビの配置先 (今月は札幌市手稲区をご紹介) ボラナビは毎月25日に約1,000ヶ所に配置しています。

●札幌市 ■手稲区/JR手稲駅/北海道工業大学情報デザイン学科/ごまそば鶴喜手稲前田店/びっくりドンキー(手稲前田店・手稲富丘店)/中和石油(株)FW西宮の沢/北海道エネルギー(手稲富丘・チャレンジ下手稲通・手稲星置・チャレンジ手稲インター・手稲前田・下手稲通嘴・セルフ手稲)/北海道銀行(手稲支店・星置支店)/札幌信用金庫手稲支店/曙図書館/手稲コミュニティセンター/手稲区社会福祉協議会/手稲区民センター/手稲区役所/地区センター(新発寒・星置)/まちづくりセンター(手稲・手稲鉄北・前田・新発寒・富丘西宮の沢・稲穂金山・星置)/手稲区体育館/手稲曙温水プール/星置スケート場/札幌日産自動車(株)手稲支店/日産サテリオ稲穂営業所/Honda Cars札幌(手稲前田店・手稲宮の沢店)/文教堂メディア館宮の沢店/コープさっぽろ(手稲店・西発寒店・星置店)/スーパーJOY(稲穂店・前田店)/ラルズ宮の沢店/北雄ラッキーあけぼの店/ホクレンショップ(新発寒店・前田店)/ニトリ宮の沢店

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置にご協力いただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会にも配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様のご協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼ボラナビに載せたことで1人、ボラナビのホームページに載ったことで2人 **会員が増え**、問い合わせも5件あった。

▼幅広い活動をしているので、それらも **網羅した原稿** にすればよかった。

▼引きこもりになりそうな子を心配した親が、ボラナビを見て **代わりに応募** してきた例があった。

▼掲載されると大変反響があり、ボラナビの **影響力** を感じました。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (ヤユヨ順)

遊佐新聞販売株式会社様

株式会社土屋ホーム様

北雄ラッキー株式会社様

株式会社 HBA 様

寺岡ファシリティーズ株式会社様

北海道銀行様

札幌信用金庫様

富永マサエ様

北海道新聞社様

札幌通運労働組合様

中道リース株式会社様

有限会社北海道新聞中田専売所様

城宝和茂様

株式会社ニトリホールディングス様

北海道文化放送様

進藤芳彦様

匿名希望者様

森田雄二様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000 円以上の寄付金や、この欄への 10,500 円の寄付広告をいただいた際は、お名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとほっと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金算入が可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL: 011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各 1 号につき)

種 類	サイズ (天地×左右)	料 金
S サイズ (企業・行政)	50 mm × 76 mm	31,500 円
M サイズ (企業・行政)	50 mm × 157 mm	63,000 円
M サイズ (NPO・NGO)	50 mm × 157 mm	5,250 円
L サイズ (NPO・NGO)	100 mm × 157 mm	10,500 円
無料掲載 (NPO・NGO)	サイズの希望は受けられません。 また、誌面の都合により掲載できなくなる場合があります。	無 料
裏 表 紙	50 mm × 157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル × 120 ピクセル	52,500 円 (1,750 円/日)

※前払いでお願いいたします。

※「製作済みの版下」または「テキスト (あれば写真やイラストも)」をご提出ください。
企業・行政の広告はデザイン性のあるものにしていただきたいと思いますので、版下の提出が難しい場合は、ボラナビ倶楽部が適切なデザインを別料金で制作いたします。(M=6,300 円、S=4,200 円、バナー広告=6,300 円)。NPO・NGO 広告もデザイン性を持たせることは可能です (L=8,400 円)。

※ボラナビ倶楽部のホームページ (ボラナビ・サーチ) への情報掲載は無料です。ただし、企業・行政でお申し込みの際は、協賛・寄付をご検討ください。
みなさまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。(2010 年 7 月改定)

■定期購読のご案内

●各号 1 部 (6 ヶ月間)…………… 1,575 円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合は、寄付または寄付広告をご検討ください。
詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への
お振り込みは

■ゆうちょ銀行 (郵便振替)

02700-1-5671

■北洋銀行北七条支店

(普) 3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店

(普) 0816050

■北海道労働金庫道庁支店

(普) 3153060

■札幌信用金庫本店

(普) 4255071

●口座名: ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QR コード対応携帯のみ

ボラナビ・コールサービススタート!

市民団体などに代わってボラナビ倶楽部が窓口となるサービスを今年度から試験的に始めています。利用される方はボランティア募集情報をボラナビなどに掲載する際、連絡先としてボラナビ倶楽部の電話、FAX、メールアドレスを告知していただくことが可能です。「専門の事務局員を置くことができない」、「ボラナビに掲載したいけど公開できる連絡先が無い」という市民団体の声を受けて企画しました。ぜひご利用ください。

■代理業務内容・・・平日 9:00~15:00 にかかってきた電話の対応と、それ以外の時間に受け付けた留守電・FAX・メールなどのご連絡内容を転送します。※複雑な問い合わせが想定されるケースなどはお引き受けできないことがあります。

■料金・・・2,100 円 (税込/前払)。月刊ボラナビ発行日 25 日~翌月末日の約ひと月間。

■お問合せ・・・NPO 法人ボラナビ倶楽部/Eメール volunavi@npohokkaido.jp/TEL 011-242-2042/FAX 011-242-2043

■ホームページアドレス
http://www.npohokkaido.jp/volunavi/
■メールアドレス
volunavi@npohokkaido.jp

■発行/NPO 法人 ボラナビ倶楽部
〒060-0005
札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 2 札幌ビル 7 階
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

■発行日/2011 年 1 月 25 日
■発行部数/35,400 部

■代表/森田義美子
■印刷/柳屋インランド
■イラスト/タケタミヲ

PRINTED WITH
SOY INK

この印刷物は環境にやさしい「豆インキ」を使用しています。